

# 平成25年度 先進企業視察を実施

平成25年10月22日(火)に実施した先進企業視察の概要をご紹介します。

1. 参加者 26名 (随行：4名)
2. 訪問先 (1)株式会社エフピコ福山リサイクル工場さま  
(福山市曙町1丁目12-15)  
(2)JFEスチール株式会社西日本製鉄所さま  
(福山市鋼管町1番地)

## 3. 視察概要

(1)株式会社エフピコ福山リサイクル工場さま (13:00～14:30)

### ○会社概要 (2013年3月現在)

本 社：福山市  
創 立：1962年  
資 本 金：13,150百万円  
連結売上：158,192百万円  
経常利益：15,122百万円  
当期利益：8,846百万円  
自己資本比率：44.5%  
従業員数：単独750名 連結4,037名  
(平均年齢 39.0歳)



株式会社エフピコ福山リサイクル工場

### ○事業の特色

- ①エフピコ方式リサイクル
  - ②障がい者の積極的な雇用
- 「もっと高品質な製品」「どこよりも競争力のある価格」「必要なときに確実にお届けする」という三つの基本方針に則り、企業価値の拡大を目指し企業活動を行っている。
- 一度使用されたトレーを回収し「エコトレー」(再生トレー)を生産している。このリサイクルシステムをエフピコ方式のリサイクル「トレー to トレー」と呼び、使用済みトレーを廃棄せず、回収し再生原料として使用することにより、資源循環と二酸化炭素の削減の両面から成果を挙げている。なお、現在同社の生産するトレーの25%はエコトレーとのことである。
- 現在この種の取り組みを行っているのは同業他社の中で、同社のみで、「消費者」「流通業者」「包材問屋」「エフピコ」の四者が一体となった協力体制による同システムは画期的なものとなっている。
- 障害者雇用率は16.1%と、法定雇用率2%に比べ顕著に高い値であり、同社の企業市民としての姿勢が強く印象に残った。

(2)JFEスチール株式会社／西日本製鉄所さま (15:00～16:30)

○会社概要 (2013年3月末現在)

本 社：東京都  
創 立：2003年  
資 本 金：2,396億円  
従業員数：42,519名  
製造拠点：東日本製鉄所（千葉、西宮、  
京浜）、知多製造所、西日本  
製鉄所（倉敷、福山）



雨天荷役ドーム（映像：JFEスチール(株)提供）

○西日本製鉄所概要

○経 緯 1961年埋め立てからスタート  
1966年第一高炉完成

2003年日本鋼管と川崎製鉄が合併し、JFEスチールに社名変更

○面 積 福山地区1,420万㎡ 倉敷地区1,089万㎡

○従業員数 福山地区3,845名（ピーク時12,200名）  
倉敷地区3,468名（ピーク時10,900名）

○生 産 量 粗鋼 年間約2,000万トン（日本の全生産量の約1割） 65%が輸出  
現在リーマンショック以前の生産量に回復。

○生產品目 厚鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、H形鋼、レール、鋼管、線材 等

○工場レイアウト

東側の原料バースから西に向かって原料ヤード・製鉄・製鋼・圧延・商品岸壁と原料受け入れから製品出荷までの製造プロセスに沿って各工場が配置されており、効率的な運営が可能なレイアウトになっている。

○工場視察内容

第2熱延工場においてスラブ（鋼板向けの圧延素材）を圧延機により厚さ220mmから2mmまで圧延して熱延鋼板を製作しコイル状に巻き取る工程を視察した。

500mのラインで温度を均一にさせるための加熱を行いながら、高精度に圧延している。

最後の水冷の工程で材質調整をおこない高品質な製品に仕上げている。

工場内では、大量な水が使用されているが、使用した水はろ過し90%再利用している。製鉄所全体においても発生するガスや水蒸気は発電に利用するなど所内の緑化も合わせ、環境保全や徹底した省エネルギーを展開し地球環境に優しい製鉄所となっている。

4. 視察を終えて

ご多忙中にもかかわらず、ご参加いただいた皆さま、そして視察にご協力いただきました株式会社エフピコ福山リサイクル工場およびJFEスチール株式会社西日本製鉄所の皆さま方にはこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回アンケートで頂戴したご意見を踏まえ次年度の企画を練っていきたいと考えておりますので、ご期待ください。